

2018年(平成30年)4月1日

会員各位

第140回
Klub Zukunft 月例会
— 歴史・文化に親しむ会 —

陽春の候、会員の皆さまには如何お過ごしでしょうか？

さて、今月は、第108回で「徒然草」をテーマに、第128回で「宮沢賢治」の童話について興味深いご講演をいただいた国文学者の光田和伸先生の3度めのご登場です。

皆さんは「古事記」、「日本書紀」を精読されたことはおありでしょうか？共に7世紀に天武天皇の命によって編纂されたことは知っていても、その内容、相違をどこまでご存知でしょうか。

今回、光田先生はその「古事記・日本書紀」をテーマにその真髓を詳しく紐解いていただきます。

「古事記・日本書紀」はきわめて嘘の少ない書物ですが、巧みな省略によって読者が誤った理解に陥るように操作されていると。古事記伝を書いた本居宣長はそのことに気づいたはずだが、何故か沈黙を守っていると光田先生は考えられています。

先生はこの講義でその箇所を指摘し、正しい日本の古代史を再建していこうと述べられます。

皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、一緒にご出席いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

- ◆ 日時：2018年4月25日(水曜日) 16:00~17:30
- ◆ 場所：大阪市立大学 文化交流センター
大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル 6階
(添付の地図をご参照下さい。)
- ◆ テーマ：「古事記・日本書紀から正しい古代史を再建する」
- ◆ 講師：光田和伸様 (国文学者)
- ◆ 参加料：正会員；500円 / 賛助会員&一般；1,000円
- ◆ 月例会への参加は Klub Zukunft のホームページからお申し込み下さい。
<http://klubzukunft.com/>
- ◆ 尚、月例会終了後、懇親会を開催しますので、併せてご参加下さい。(会費は実費)

以上